

# 平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	道路橋りょう新設改良事務管理事業			会計	款	項	目	大	小
				01	08	02	01	02	02
政策	O1	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）		主管課	道路建設課				
施策	1-5	土地利用・生活環境に配慮した道路整備		主管課長	小野 満寿夫				

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	道路橋りょう新設改良事業及び街路事業の事業執行に関連する諸事業	意図	道路橋りょう新設改良及び街路事業の円滑な事務執行の環境を設定する。
事業内容	事務執行に必要なコピー等の事務機器使用の確保、車両の保有、使用費用、出張旅費の用意、整備促進運動を行う協議会への加盟、参考図書を購入等である。			
事業開始から現在までの状況変化	事業内容が、事務管理費であり、内容そのものは以前から大きな変化はない。ここ数年は、予算編成時にマイナスシーリングが設定され、既往の内容に対する予算額は漸減傾向にある。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	① 事業費	1,522	1,457	1,493	千円	→→	
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
指標で表すことができない定性的な成果						目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）	
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		8,387,396	8,169,291	8,084,602			
事業費(b)(円)		1,522,396	1,457,291	1,492,602			
うち一般財源		1,522,396	1,457,291	1,492,602			
職員給与費(c)(円)		6,865,000	6,712,000	6,592,000			
人役・職員(人)		1.00	1.00	1.00			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	B 削減の余地がややある
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	経営経費削減の継続。	③取組における課題(Check)	各種負担金（千葉県道路協会負担金等）の見直しによる経費削減。
②H30に実施した取組(Do)	事務用品等の購入を削減。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	今後も減額方針が継続される見込みであることから、更なる事務経費の削減に努める。